

ESD フォローアップ会議

井関 やあめ

活動報告プレゼンのまとめ

1. ユネスコスクール世界大会 Students(高校生)フォーラム～竹井まどかさん～
世界 32 か国から高校生が集結し会議
この世をよくしたいという思いが同じであることを確認
参加してから、した後での意識の持ち方が変わった
2. ユネスコ ESD ユース・ンコンファレンス～中野有里さん～
世界 50 か国から若者（企業家や研究者）集う会議
考え、感じ、動くことの重要性
ファシリテーションの重要性（小学生の子にも教育していくことがベスト）
会議後、様々な実践へチャレンジ
→ホームページ作成、海外研修の企画、市民を育む活動
3. グローバル RCE コンファレンス～斎藤達昭さん～
分科会（地域別・テーマ別）での話し合い
全大会 分科会を踏まえて情報を共有し、コメントし合う
今後…
ESD の見える化に挑戦 ESD 活動の質の向上 将来世代へのバトンタッチ 国内外の人との交流活性化
RCE Award などの創設
4. ESD 推進のための公民館 CLC 国際会議～重森しおりさん～
岡山市公民館を拠点に地域 ESD 活動の促進
CLC（アジア中心）と共に ESD 推進を考える
会議の成果
公民館の知名度 UP
住民の主体性 UP
公民館という小さなコミュニティもグローバルに
5. 教師教育に関する国際会議
世界 30 か国からの参加者で教師教育はどのようにすればよいかを話し合う
生物多様性の話や野外活動、減災教育 幼児教育等に重点を置き、話し合う
清心女子高校 生命科学コースのプレゼンを聞いたりと実際に学校を訪問したり、野外活動をしたりと
実践活動も行われた

感想

17歳から70歳くらいまでといったように幅広い年齢層が集まり持続可能性について話し合いをするというのはなかなかない機会なので貴重な経験ができたと思う。私が参加したディスカッションのグループも年齢層が幅広く、普段学校で過ごしていると体験することのできない話し合いに参加できた。ESDに関する知識はそれぞれだったけれど、皆がESDについて多くの興味と感心を持って会議に参加していた。今まで私は高校生フォーラムで扱うESDについてしか知らなかったけれどこの会に参加して幅広いESDに出会った。全くESDと関係ないように見えて実はつながっているというような新しい発見も多くありたくさんものを吸収することがたくさんあった。11月に大きな大会が終わり、少しずつESDという言葉が聞かなくなってきており、ESDが終わってしまったようにさえ感じていた。しかしESD活動を続けている人は岡山にはたくさんいるし、本当のスタートはこれからだということを強く感じた。また、プレゼンやグループディスカッションを通してファシリテーションの重要性と自分が学んだESDを知ってもらうことの大切さを改めて感じた。私が参加したグループの人達はほとんどESDがどういったものなのかというのを知らなかったのでその取り組み等を中心に話を進めた。その際、私は自分の学んだESDを頭に思い浮かべながら発言した。ほんの2年前まではESDの意味はもちろん言葉さえ知らず、ただただ圧倒されるばかりだった。しかし2年間のユネスコ活動を通して学んだESDは私の中にしっかりと身につけていて、ESDを知らない人に自然と伝えることができるようになっていたのだ。この会議は私に必死に取り組んだあつという間の2年間がきちんと自分の中に生きていくことに気づき、次の一步を踏み出すための決意を固める機会を与えてくれた。これまでに学んだESDを生かし、自分ができることを始めたいと思う。